



第3会場●4F 視聴覚室

■司 会／吉岡 康行 広島県教育委員会事務局教育部生涯学習課 社会教育監
久保田啓子 山口県長門市教育委員会 社会教育指導員

分科会の進め方

13:30～13:35

1 中高生の!幸雲南塾 ～中高生をターゲットにしたキャリア教育の取組～

13:35～14:05

青木 拓夫(島根県雲南市) 雲南市教育委員会社会教育課キャリア教育推進室 派遣社会教育主事

「中高生の!幸雲南塾」は中高生が視野を広げるために必要な力(課題発見能力、課題解決能力、想像力)を育む「自立した社会性のある大人への成長を目指す人材育成塾」である。市内外で活躍する大学生や社会人と一緒に、学習支援や将来の選択肢を広げ、深める学習など、中高生が大人になるときにふるさと雲南を意識し、ふるさとを愛し、そこで自分の挑戦したいことを見つけ、仲間とともに挑戦しようとする人材を育てている。中高生の学年・学校を超えた新しい環境での学び合いの場になっている。

2 高校生による海・山で暮らす匠への「聞き書き」 ～海と山をつなぐ～

14:10～14:40

森光 康恵(岡山県総社市) 備中「聞き書き」実行委員会 事務局

人生の生き方や働き方、その中で培ってきた知恵や技術、未来への願い等を丸ごと「聞き書き」する事業。地域づくりと未来を担う若者の人材育成活動として平成22年度笠岡市市民提案型協働事業としてスタート。平成23～26年度は岡山県備中県民局協働提案事業に採択。地域で暮らす匠(人生の先輩)の人生を記録する中から、高校生・大学生は多くの価値を学んでいる。平成28・29年度海洋教育パイオニアスクールプログラムに採択され、県内高校生・大学生有志による広域実施になった。

ティータイム

14:40～15:05

3 古民家を活かした「喜久家」プロジェクト ～世界の若者たちとの郷づくり～

15:05～15:35

浅野 長武(愛媛県伊方町) 喜久家プロジェクト 副代表

平成19年2月スタート。当初人口45人の限界集落の人口減少の歯止めと持続可能な郷づくりを目指した。集落の有志と「古民家」と「喜久屋プロジェクト」とした。国内外から若者ボランティアを受け入れ、一緒に郷づくりを始めて11年になる。世界22カ国の若者たちと協働。農作業、耕作放棄地の再生、地域行事への参加、クリーン運動、異文化交流、学校訪問、農業体験受け入れ、ひきこもり青少年の自立支援等々の実践を展開。外国若者118人、日本106人、日帰り者延べ約360人等が参加している。

注目成果：①交流人口・関係人口の増加で地域が活性化して来た。②Uターンや農業後継者があり人口に歯止めがかかっている。③郷に誇りが芽生えている。

4 「子ども中心の地域づくり」 ～みんなが主役のまちづくり～

15:40～16:10

柴田 正行(福岡県篠栗町) 篠栗小校区づくり実行委員会 実行委員長

社会教育主導による学社連携事業「校区別地域づくり」が進められて10年。町内には3つの小学校校区があり、校区ごとに「校区づくり協議会」が発足し、学校選出を除く9人の社会教育委員が3校区に分かれて実行委員会に入っている。各校区ではそれぞれに地域に沿った部会をつくり、活動を通して子どもの育成を中心に据えた校区づくりを行っている。これらの取組から、校区づくりでは「『住み続けたいまちづくり』への夢や願いを持っている人たちが顕在化された。」「学校支援団体や他の地域の方との相互協力が充実し、横断的なネットワーク(輪)ができた。」という成果をあげている。